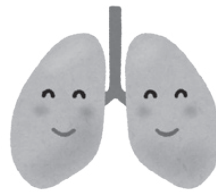




肺の生活習慣病 ～COPDをご存知ですか？～



健康政策課 本3階
TEL (23) 7601

COPD (慢性閉塞性肺疾患)とは？

肺が炎症を起こし肺の機能が低下することで呼吸がしにくくなる病気です。主な原因はたばこの煙といわれています。

主な症状は、息切れ・せき・たんですが、初期は無症状なことも多く、病気に気づかないまま症状が進み、重症化すると酸素吸入が必要になることもあります。

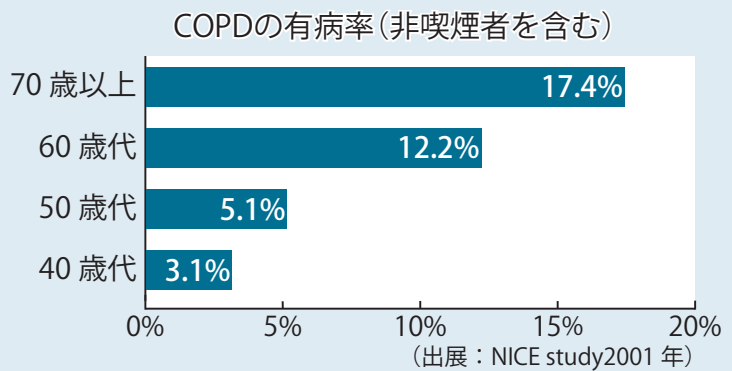
COPD が身体に与える影響

肺の生活習慣病ともいわれている COPD ですが、肺だけでなく全身に影響を及ぼして、**脳血管障害、虚血性心疾患、糖尿病、骨粗しょう症、認知症**などを併発しやすいことがわかっています。

高齢になるほどCOPDの有病率が高くなります

大規模な疫学調査の結果、高齢になるほど COPD の有病率が高くなるのがわかっています。

70歳以上の6人に1人(約17%)はCOPDの可能性がります。



こんな症状ありませんか？

階段の上り下りで息切れがする



せきやたんが出る



特に40歳以上で喫煙歴がある方は要注意！

左記のような症状がある方は早めに受診し、早期に治療することで悪化を防ぐことができます。



風邪が治りにくく、せきやたんが出る



呼吸のたびにゼーゼー、ヒューヒューする



(参考)一般社団法人GOLD日本委員会ホームページ

COPDは予防可能な病気です。 今、たばこをやめれば間に合います！

COPDの原因の約90%は喫煙です。「禁煙」によって発症を予防し、また進行を阻止することができる病気です。早く禁煙するほど、発症を予防できる可能性が高くなります。

たばこの煙に含まれるニコチンには強い依存性があることから、自分だけではなかなかやめられないことがあります。そのようなときには「禁煙外来」を受診するのも一つの方法です。市のホームページに近隣市町の禁煙外来がある医療機関などを掲載していますのでご覧ください。

